

浦田いっぽん釣協業体

熊毛支庁農林水産課

1 目的

西之表市浦田漁港内に完成した蓄養水面を活用して、一本釣や定置網で漁獲されるカンパチ、ゴマサバ、ハタ類、ムロアジ、フエダイ類などの漁獲から蓄養、出荷までを共同で取り組み、漁獲物の付加価値の向上と魚価の安定を図り、所得の向上により漁業経営を改善する漁業者の体制づくりを行った。

2 事業主体

県

3 協業体の概要

(1) 名称 浦田いっぽん釣協業体

(2) 構成員 16名

中河輝幸(代表), 阿塚茂宏, 宇辰英樹, 小浜兼明, 宇辰清成, 伊東恭三郎, 岩松洋人, 田中純男, 清本 剛, 宇辰省三, 伊東政義, 宇辰 斗, 浦崎郁雄, 浦嶋三郎, 岩松唯美, 柳田 勉

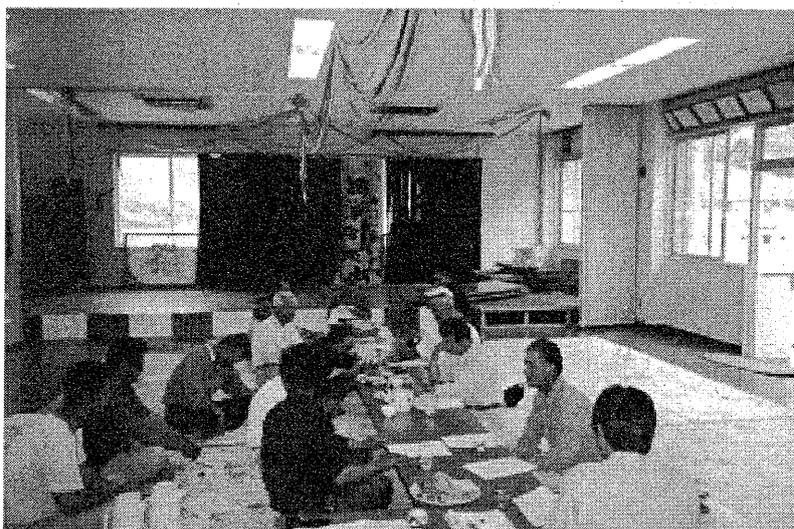
4 事業実施状況

(1) 月別活動状況

月	主要項目等
2005年5月	5/19事業等説明会, 生け簀設置検討5/27
6月	6/24作業部会, 6/27~29視察研修, 6/1生け簀設置検討 6/30生け簀・水温計設置
7月	7/25作業部会(研修結果検討)
9月	9/28作業部会
10月	10/28作業部会 ※漁協 網作成, 水産振興課長視察
11月	11/21作業部会 ※漁協, 市, 水技センター
12月	12/15 作業部会(事業計画策定) ※漁協, 漁連, 市, 水技センター
2006年1月	1/24作業部会(事業計画策定) ※漁協, 漁連, 市
2月	2/14(認定会議打合せ) 2/20県協業体認定会議
3月	3/24認定

(2) 事業実施状況

①事業計画検討のための作業部会の開催



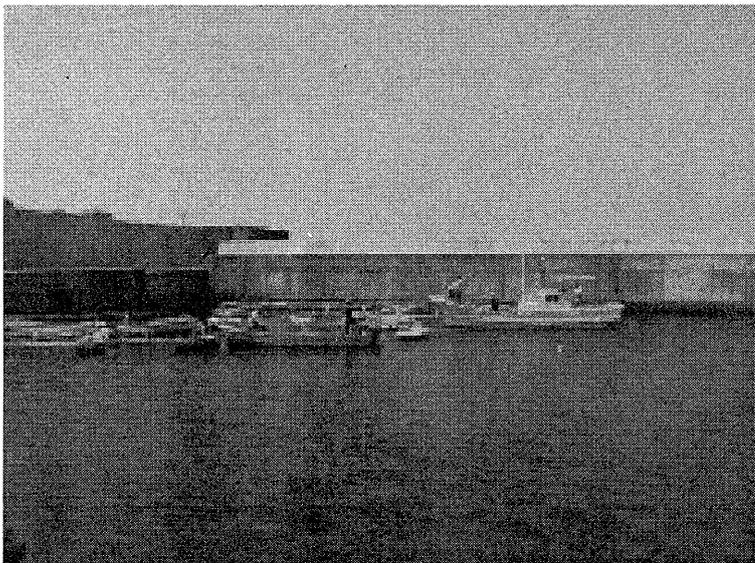
事業計画を検討するために作業部会を開催した。

## ②視察研修

平成17年6月27日～29日に視察研修を行った。

- ・長島お魚育成グループ（協業体の取組状況）
- ・東町漁業協同組合（加工施設等）
- ・蓬莱館（施設の概要及び見学）
- ・野間池マグロ養殖協業体（協業体の取組状況）
- ・野間池漁業協同組合（活け締め実習）
- ・笠沙町漁業協同組合（荷捌き施設見学）
- ・鹿児島県漁業協同組合連合会（瀬物類の流通）

## ③蓄養生け簀の設置



生け簀設置のための資材を購入し、蓄養生け簀4基を設置した。

## ④カンパチ蓄養試験



蓄養したカンパチ60尾を神経抜きの鮮度保持を行い試験出荷した。

市場で評価が得られて高値が付くようになった。

## ⑤広報宣伝用資材の試作



広報宣伝用の資材を試作し検討した。

## 5 漁業経営改善計画の概要

詳細については別添の漁業共同改善計画書のとおり。

### (1) 漁獲の協業化

蓄養対象魚を効率的に漁獲するために、漁獲対象魚種、操業日時、操業場所などを協議し操業していく他、漁船などの共通利用も検討していく。

### (2) 蓄養による出荷調整・高付加価値化

蓄養水面の漁場特性の把握や給餌方法の検討を行いつつ蓄養管理体制を確立し、市場の価格や入荷量を勘案しながら安定的に出荷できるようにする。また、蓄養魚を活魚や活け締めなどの鮮度保持を施し高付加価値化を図る。

### (3) 神経破壊による鮮度保持

協業体内での神経破壊技術の標準化を図り、神経破壊による活け締め処理の体制を確立する。

### (4) 一本釣漁獲物のブランド化

浦田いっぼん釣協業体の漁獲物のブランドを確立していくために、シールやパンフレット等を作成し広報宣伝していく他、ホームページを開設し浦田の一本釣漁業や蓄養魚などを積極的に情報発信していく。

### (5) 販路の拡大及び直販活動

種子島漁協や鹿児島県漁連と連携して鹿児島市内の販売店と協議しながら、鹿児島市内における販売ルートの確立を目指すとともにお魚祭りなどの直販活動も検討する。